

茶病虫害防除情報

【第 14 号】

令和 4 年 8 月 22 日

鹿児島県経済連・肥料農薬課

秋芽生育期、猛暑下不順な天候気象が続く、病害多発化の恐れ

秋芽生育期の病害特別防除対策

蒸し暑い残暑の中来年産茶に向け秋の茶園管理に努められていることと思います。8月は猛暑の天候が続きましたが、10日以降はにわか雨などが多くなり、曇雨天・多湿な気象条件の不順な日が多くなっています。また、これから9月は台風襲来や秋雨前線の停滞なども予想されます。茶園は現在概ね秋芽生育期で、罹病性品種の「やぶきた」などは炭疽病、網もち病などが最も感染しやすい状態で、今後発生が多くなることが懸念されます。特に最近発生が増加し、被害の大きい網もち病はこのような湿潤な気象条件で多発生の恐れがありますので注意しましょう。また、一昨年の台風では細菌性病害の斑点細菌病やかいよう病が一部地域で発生しました。今年も更新園などが多く、秋芽の生育は様々な状態ですので、まず芽の生育状態を把握し、降雨など気象予報を勘案して、降雨前・合間、台風前などに、早急に適切な防除を進めましょう。

★ 秋芽生育期の病害の発生と防除法

炭疽病は二・三番茶の発病葉から伝染し、秋芽の萌芽～5葉期頃迄に感染します。主に伝染源病葉となる三番茶期の発病は、早い梅雨明けや、浅・深刈り更新の影響でやや少ない状態ですが、これから秋芽生育期に降雨が多いと感染が多くなり、多発生する恐れがあります。

秋芽生育期の薬剤防除は、新芽の生育期間が長い一般に予防剤と治療剤 DMI 剤の順に体系で防除しますが、降雨などで散布遅れの場合などでは前報でお知らせした普及情報の新防除法がコニール 1000 と DMI 剤インダゴフロアブルまたはオリワンフロアブルを混用して 2～4 葉期に 1 回散布する新防除法は極めて有効とされます。

輪斑病は一般に摘採・整枝時の切口から感染しますが、台風による暴風雨による傷口からも感染します。また、**新梢枯死症**は包葉の落葉痕や葉柄の傷口などから感染しますので、この時期の台風による暴風雨後に発生が多くなります。このため台風直前の防除が有効です。

網もち病は秋芽の生育がやや進み、新芽生育後半(3～5葉期)の8月下～9月上旬頃に曇雨天・多湿条件が続くと菌(担孢子)が飛散して感染します。また、秋芽の生育が遅く9月上中旬になるような園で感染しやすいです。感染後 50 日位の潜伏期を経て 10 月下旬から 11 月頃葉裏に白い網目状病斑を発病します。発病に気づいてからの対処法はありません。今年が多発しやすい気象条件で注意が必要とされます。DMI 剤などで炭疽病と同時防除もできますが、これまで発生が多い地域や園ではさらに 4～5 葉期頃に銅水和剤を追加散布し、防除します。

斑点細菌病 **かしよう病**は台風の暴風雨で秋芽の新葉・新梢が傷感染します。これらの病害に対する登録薬剤はありませんが、赤焼病に有効なカスミボルトーや銅水和剤は有効性が考えられます。台風襲来の直前・直後に散布することが有効とされます。

★ 具体的な今後の病害薬剤防除方法

病害名・状況・秋芽状況・防除状況	具体的薬剤防除の方法
<p>炭疽病 新梢枯死症 網もち病 秋芽生育初期園 (防除未実施園) (降雨前 感染前対策)</p> <p>輪斑病、新梢枯死症 (発生の恐れがある園) (台風襲来対策)</p>	<p>慣行(栽培暦)防除</p> <p>1回目(萌芽-1葉期) ベクトール水和剤 500~700倍 又は ダコニール 1000 700~1000倍 フロンサイト SC 2000倍</p> <p>2回目(3~4葉期) インダーフロアブル 5000~8000倍 又は オンリーワンフロアブル 2000~3000倍</p> <p>補完防除 (秋芽2葉期頃)</p> <p>台風襲来時対策</p> <p>カスミンホルトル 500~1000倍 アミスター 20フロアブル 2000倍 又は ナリア WDG 2000倍 ニマイール水和剤 1000~1500倍 テプロスフロアブル 1000倍 など</p>
<p>炭疽病 新梢枯死症 網もち病 秋芽生育中後期園 (防除未実施園) (降雨が持続し、感染後の対策)</p>	<p>治療剤先発防除法(既に感染状態のため治療剤を最初に散布)</p> <p>1回目(2-4葉期) インダーフロアブル 5000~8000倍 又は オンリーワンフロアブル 2000~3000倍</p> <p>2回目(3-5葉期) ダコニール 1000 700~1000倍 又は ベクトール水和剤 500~700倍</p> <p>予防剤・治療剤混用散布防除法 (新普及情報)</p> <p>(2-4葉期) ダコニール 1000 700~1000倍 + インダーフロアブル 5000~8000倍 又は オンリーワンフロアブル 2000~3000倍 混用</p>
<p>網もち病 (補完対策)</p> <p>「あさのか」など炭疽病防除の必要がない園</p> <p>秋芽生育の遅い園</p> <p>多発生の恐れがある園</p>	<p>治療効果の高いDMI剤による防除</p> <p>(3-6葉期) インダーフロアブル 5000~8000倍 又は オンリーワンフロアブル 2000~3000倍 スコア顆粒水和剤 2000倍 など</p> <p>慣行防除後さらに5-6葉期に銅水和剤など追加防除</p> <p>銅水和剤・・・クプロシールド 1000倍 コサイト 3000 1000倍 Zホルトル 400~500倍 フジトル-Lフロアブル 500倍 など</p>
<p>かいよう病 斑点細菌病 台風襲来時</p>	<p>台風襲来の直前・直後散布</p> <p>(本病に登録がないので留意)</p> <p>クプロシールド 500倍 カスミンホルトル 1000倍 コサイト 3000 1000倍 Zホルトル 500倍</p>



炭疽病多発生園



新梢枯死症多発生園



網もち病多発生園



斑点細菌病 病斑



秋芽に発生した斑点細菌病



かいよう病初期病斑



進展したかいよう病病斑



枝梢に発生したかいよう病